

# 第 2 次京丹後市男女共同参画計画の 進捗状況について

○令和 4 年 9 月 2 6 日 (月)  
○市民環境部 市民課

# 令和3年度事業実施報告

## 相談支援

- ・女性相談啓発カードの配布 市内56事業所
- ・カウンセラーによる女性相談 年間16回開設

## 啓発事業

- ・市民向け、男性向け、事業所向けに講演会を実施
- ・高校へ男女共同参画をテーマに出前講座
- ・児童生徒へ男女共同参画啓発冊子の配布
- ・DV防止等啓発展示
- ・デートDV防止講座を中学校で実施



事業	内容
男女共同参画講演会	「あなたの夢はなんですか？～女性が活躍する時代で自分らしく働くために～」 講師：中村朱美氏（株式会社minitts代表取締役） 参加：93人
ワーク・ライフ・バランス講演会	「パパの子育て 家族の子育て」 講師：小崎恭弘氏（大阪教育大学准教授） 参加：52人
事業所向け オンラインセミナー	「働きやすさは暮らしやすさ～男性の育休取得を考える～」 講師：（一社）日本ファミリーナビゲーター協会 田中美賀子氏 竹内博士氏 参加：41人
デートDV防止講座	①峰山中学校2年生 ②丹後中学校2年生 講師：安本 理子氏（ウィメンズカウンセリング京都） ③網野高校3年生 講師：京丹後市市民課職員 参加計：247人
京丹後市職員まちづくり出前講座	①峰山高校1年生 テーマ：男女共同参画事業、LGBTについて ②丹後緑風高校1年生 テーマ：女性活躍社会について 参加計：23人
男女共同参画啓発冊子の配布	市内の全小中学校を通じて下記の学年に配布 小学校1年生、小学校4年生、中学校1年生、中学3年生
展示	①男女共同参画週間 市内6図書館（室）にて、男女共同参画関連図書の展示 ②配偶者からの暴力防止月間 市役所庁舎にて、啓発コーナーの設置

## 令和4年度事業予定

### 育児休業促進プロジェクト

- ・パパの子育て応援講座、座談会の実施
- ・事業所向け、従業員向けセミナーの実施
- ・育児休業ハンドブックの作成、配布
- ・事業所アンケートの実施

### 啓発

- ・デートDV防止講座を市内全中学校で実施
- ・児童生徒へ男女共同参画啓発冊子の配布

### 相談事業

- ・カウンセラーによる女性相談 年間16回開設
- ・女性相談啓発カードの配布

事業	内容
育児休業促進プロジェクト	<p>【パパの子育て応援講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①おやこ運動教室</li> <li>②パパの離乳食入門&amp;座談会</li> <li>③絵本で子育て&amp;座談会</li> </ul> <p>【夫婦向け講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>④「パパ&amp;ママのための夫婦会議の始め方講座 ～家族の未来図を描こう～」 講師：Logista（株）長廣百合子氏</li> </ul> <p>【従業員対象セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤「ママも会社も喜ぶ男性育休～取得のメリットを考える～」 講師：ファザーリングジャパン関西 浅山貴宏氏</li> </ul> <p>【経営者・管理職対象セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑥「企業戦略としての考える育休」 講師：まちの人事企画室</li> </ul>
男女共同参画講演会	<p>「パパの子育てが家族・会社・地域を元気にする（仮）」 講師：ファザーリングジャパン関西 堀 恭平氏</p>
デートDV防止講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市内全6中学校で実施 講師：市民課職員</li> <li>②丹後緑風高校久美浜学舎で実施（府共催事業） 講師：安本 理子氏（ウィメンズカウンセリング京都）</li> </ul>
男女共同参画啓発冊子の配布	<p>市内の全小中学校を通じて下記の学年に配布 小学校1年生、小学校4年生、中学校1年生、中学3年生</p>
展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>①男女共同参画週間 市内6図書館（室）にて、男女共同参画関連図書の展示</li> <li>②配偶者からの暴力防止月間 市役所庁舎にて、啓発コーナーの設置</li> </ul>

## 計画の概要

### ■ 計画期間

平成28年度～令和7年度の10年間

### ■ 10年間のビジョン

- ・SDGsの達成に向けたジェンダー平等の実現。
- ・人が集い、生き活きと働き、安心して子どもを産み育てる。
- ・女性の活躍がリードする豊かな地方創生のまちづくり。

### ■ 基本理念

男女がともに輝く「女性活躍新時代」

### ■ 基本方針

- 1 思いやり深まるまちづくり
- 2 女性の活躍が築く地方創生のまちづくり
- 3 寄り添い支え合うまちづくり
- 4 人権が尊重されるまちづくり

## 「基本施策に基づく取組の方向性」進捗状況

### ■ 基本施策に基づく取組の方向性（計画P40～P52）

#### 担当課で事業達成度を4段階で評価（参考資料1）

・ A 十分できている	43/88項目	49%
・ B ややできている	32/88項目	36%
・ C あまりできていない	8/88項目	9%
・ D できていない	4/88項目	5%

（評価できない 1）

### ■ 課題（C及びDの項目）

- ・メディアリテラシー向上のための啓発
- ・地域における積極的な女性の参画
- ・防災、災害対応への男女共同参画の推進
- ・女性の活躍に積極的に取組む企業に対するインセンティブの付与
- ・農林漁業におけるパートナーシップの促進
- ・婚活支援とイクメン、ケアメン、カジダンの応援

# 重点目標の進捗状況

## ■重点目標の設定（計画P53～P55）（参考資料2）

計画の実効性を高めるため、基本目標ごとに成果目標の設定を行い、事業の実績等を把握することにより、成果を客観的に把握します。計画に掲げた個々の取組内容の実施状況や、指標の達成状況を毎年度把握・点検・評価し、その結果を次年度以降の事業実施に反映します。

## ■基本方針1 思いやり深まるまちづくり

### 【課題の認識】

- ・家庭内での固定的な性別役割分担の意識を見直し、男女が互いを尊重し合って協力できるよう、男女の意識改革や、男性の長時間労働の是正等の環境づくりが重要である。
- ・子どもが幼い頃から男女共同参画の意識を育むことのできる環境が必要である。

### 【主な取組み】

- ・幼少期からの男女共同参画学習機会を提供するため、小中学校へ男女共同参画啓発冊子を配布した。
- ・男女共同参画セミナーを開催し、男女共同参画に対する意識啓発を進めた。
- ・人権映画会、講演会、高齢者大学人権講座など、幅広い年齢層に人権について学ぶ機会を提供した。

### 【主な重点目標】

No.	指標	H26年度策定時	R2年度実績値	R3年度実績値	R7年度最終目標値
1	男女共同参画啓発パンフレット作成・配布	年間1冊作成	年間4冊配布	年間4冊配布	年間1冊作成
2	男女共同参画セミナー開催数	5回	8回	6回	6回
3	人権学習会の開催数	20回	12回	13回	17回
4	人権学習会への参加者数	1,908人	756人	1,114人	2,000人

## ■基本方針2 女性の活躍が築く地方創生のまちづくり

### 【課題の認識】

- ・男女の多様な意見を市政に反映できるよう関係団体に働きかけるなど、女性の参画を促進することが求められる。
- ・多様な年齢層の男女が相互に協力し合い活力ある地域づくりを進めていくためには、誰もが参画しやすい環境づくりが重要である。

### 【主な取り組み】

- ・出産休暇の取得が進む中、育児参加のための休暇も周知され取得する職員が出現したことにより増加した。
- ・管理職に占める女性の割合について、令和3年において32.3%と1.2%上昇したが、目標の35%には届いていない。
- ・部局長会議等で審議会における女性登用について働きかけを行うなど全庁的に取り組み2.3%上昇したが、目標値40%には届いていない。

### 【主な重点目標】

No.	指標	H26年度策定時	R2年度実績値	R3年度実績値	R7年度最終目標値
6	管理職（課長補佐級以上）への女性登用率（市職員）	29.7%	31.1%	32.3%	35.0%
7	男性職員の配偶者出産休暇（2日）及び育児参加のための休暇（5日）の取得率（市職員）	-	出産 70.0% 育児 26.1%	出産 60.0% 育児 40.0%	100%
8	審議会等における女性委員比率	25.7%	27.6%	29.9%	40.0%

### 【管理職への女性登用率】

時点	職員数		課長補佐級以上	比率	病院・保育所・消防職を除く課長補佐級以上	比率
	R2.4.1	男	504人	146人	68.9%	102人
女		527人	66人	31.1%	22人	17.7%
計		1,031人	212人		124人	
R3.4.1	男	501人	151人	67.7%	104人	80.0%
	女	528人	72人	32.3%	26人	20.0%
	計	1,029人	223人		130人	

### 【審議会等における女性委員比率】（参考資料3）

	R3年度末	R2年度末
女性委員比率	29.9%	27.6%
目標値40%に届いている審議会の数（全審議会数）と割合	11（38） 28.9%	9（37） 24.3%
目標値40%に届いていない審議会の数（全審議会数）と割合	27（38） 71.1%	28（37） 75.7%

### ■基本方針3 寄り添い支え合うまちづくり

#### 【課題の認識】

- ・男女がともに健康で仕事と育児を両立し、安心して子どもを産み育てられる地域づくりが必要である。
- ・ひとり親や障害のある人等、多様な立場にある人たちが生き生きと社会参画できるまちをめざすことが必要である。
- ・家庭や地域の支援だけでは解決が困難な課題に対し子育て支援や福祉サービスの充実等を図り社会全体で支えていくことが必要である。

#### 【主な取り組み】

- ・子育て世代包支援センターを中心に、保健師や助産師、心理士などによる相談や両親学級の開催など、妊娠期から子育て期までの継続した支援を実施した。
- ・健診受診の大切さの広報・啓発を強化したことにより、受診率が向上した。
- ・心の健康をテーマとした講演会を開催し、精神疾患に関する知識の普及啓発を進めた。
- ・外国語講座や交流事業を開催し、国際理解を進めた。
- ・ひとり親を対象とした交流事業を実施し、社会的に孤立しない環境づくりを進めた。

#### 【主な重点目標進捗管理】

No.	指標	H26年度 策定時	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R7年度 最終目標値
13	「生命の尊さや心身の健康について学習を行う保健事業」の開催数	11回	12回	12回	12回
14	乳がん検診の受診率	48.2%	46.1%	49.5%	50.0%
15	子宮がん検診の受診率	44.7%	40.5%	43.1%	50.0%
16	自殺やうつ病等の精神疾患に関する知識の普及啓発講座開催数	26回	講演会1回 研修8回	出前講座1回 研修6回	講演会1回 出前講座5回
21	国際理解・多文化共生講座の開催数	年6回	年12回	年12回	年7回
22	多言語対応人材の育成者数（英語講座等を通じて人材育成）	80人	7人	11人	120人
23	ひとり親同士の交流機会数	年2回	年2回	年2回	年4回

## ■基本方針4 人権が尊重されるまちづくり

### 【課題の認識】

- ・配偶者や恋人からの暴力（DV、デートDV）等は、家庭内の問題、男女間の個人的な問題であると捉えがちであり、周囲が気がつかないうちに、被害が深刻化しやすい傾向にある。
- ・「どこに相談すればよいかわからない」という人が多く、誰にも相談できずに、被害が潜在化しやすくなっている。
- ・若年層に対し、DVに対する正しい知識を持つこと、適切な対応を図ることを周知啓発し、あらゆる暴力を未然に防ぐための取り組みが必要である。

### 【主な取り組み】

- ・警察や関係機関と連携を図り、適切に被害者相談対応を行った。
- ・カウンセラーによる女性相談、市民課職員による電話相談等を行いDVの悩みをもつ市民の心のケアに努めた。
- ・国が定めた「女性に対する暴力をなくす運動（11/12～11/25）」の期間を中心に、DV防止の啓発展示を行い、普及啓発活動を行った。
- ・市内の中学校及び高校でデートDVについての理解を深める講座を行った。（中学校2校、高校1校）
- ・性的マイノリティについて理解を深める人権講演会を開催するとともに、ケーブルテレビでも放映し、市民へ意識啓発を図った。

### 【重点目標進捗管理】

No.	指標	H26年度策定時	R2年度実績値	R3年度実績値	R7年度最終目標値
24	DVを経験した市民のうち、どこに相談したら良いかわからなかった市民の割合（住民意識調査結果）	13.6%	（調査なし） ※R6年度調査予定	（調査なし） ※R6年度調査予定	0.0%

### 【R3女性相談件数】

	DV	DV以外	計
カウンセラーによる女性相談	9件	8件	17件
電話相談（市民課職員対応）	0件	10件	10件
来所・訪問（市民課職員対応）	18件	1件	19件
計	27件	19件	46件